

## 平成27年度東北地域カーボン・オフセットグランプリ概要

J-クレジット東北地域推進協議会(事務局:東北経済産業局)では、今年度から初の試みとして、優良なカーボン・オフセットの取組を表彰する「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」を実施。当局HPにて公募を行ったところ、12件の応募があり、協議会内に設置された選考委員会において、受賞8団体を決定。

### 1.表彰制度の概要

J-クレジット東北地域推進協議会が、東北地域におけるカーボン・オフセット※の取組としてモデル性が高い優良な取組を評価し、その実施団体を表彰するもの。本表彰により優秀な取組を広く紹介することで、カーボン・オフセットの普及や理解促進を図るとともに、地球温暖化対策から波及する複合的な社会貢献を奨励し、低炭素社会の実現に資することを目的とする。

※カーボン・オフセットとは… 日常生活や経済活動の中で排出する温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を、他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせることを言う。

### 2.各賞の受賞者

#### 最優秀賞

- 登米地域森林吸収オフセット・クレジット普及広報連絡会議(宮城県)

(取組内容)

「登米市」と同市「米川生産森林組合」では、地域の森林資源の育成・整備の取組により創出したクレジットを活用した「オフセット・クレジット付きステッカー」を考案し、市民に「気負わず、手軽に」カーボン・オフセットを行ってもらえる仕組みを作り出している。



## 優秀賞

### ● 株式会社ケーヒン(東京都) (取組内容)

宮城県を中心とした国内11拠点で使用する社用車のエネルギー使用及び毎年発行している環境報告書の作成に伴うCO<sub>2</sub>を、宮城県内で創出されたクレジットでカーボン・オフセットしている。



### ● ホテルメトロポリタン盛岡(岩手県) (取組内容)

カーボン・オフセット宿泊プランを考案し、宿泊客の宿泊及び移動に伴うCO<sub>2</sub>を地元企業が創出したクレジットでカーボン・オフセットしている。



## 奨励賞

- 特定非営利活動法人青森県環境パートナーシップセンター(青森県)

(取組内容)

県民向けの「節電チャレンジ」事業のなかで、冬の 1 ヶ月の家庭からの温室効果ガス排出量のうち、記念品(クオカード)対象世帯とする 100 世帯の家庭がコンテスト・チャレンジで温室効果ガス排出量を 1 割削減できたと仮定し、残りの 9 割をカーボン・オフセット。取組は 2015 年度も継続して実施中。

- 愛子観光バス株式会社(宮城県)

(取組内容)

仙台市内で運行する路線バス 8 台が 1 年間に排出する CO<sub>2</sub> 排出量 235t を対象とし、東北地域の J-クレジットを用いて「地産地消」型カーボン・オフセットを実施。環境省によるカーボン・オフセット認証を取得しており、路線バス事業での認証取得は全国初。取組PRとして、①車内にカーボン・オフセットの概要や取り組み内容を紹介するポスターを掲示 ②バスの乗車口付近や車両後部など、広く一般消費者の目につきやすい場所への「カーボン・オフセット認証マーク」の貼付 ③Web ページにて告知、報告 を行っている。

支援賞…東北地域で創出されたクレジットを活用した東北地域外の優れた取組の実施団体を表彰するもの。

- アオイネオン株式会社(静岡県)

(取組内容)

夜間の看板照明について、街を彩りながらも、CO<sub>2</sub> の排出を最小限に抑えたうえで、オフセットする C・O・S®(カーボン・オフセット・サイン)を顧客に提案。看板の新設時やリニューアルの際に、LEDの採用や看板内部の反射効率の改善等により、看板の消費電力を大幅に削減。消費電力削減後、一定期間(5 年間、1 日 5 時間点灯など)に使用する電力を起源とする温室効果ガスを算定し、看板の設置時に一括で岩手県住田町の間伐による J-VER でカーボン・オフセットしている。また、案件ごとに、第三者機関(静岡県地球温暖化防止活動推進センター)の審査を受け、同機関より証明書を発行している。

● 株式会社マルエツ(東京都)

(取組内容)

レジ袋の原材料調達から生産工程、輸送等によって排出される CO<sub>2</sub> をオフセット。顧客の買物袋持参によるレジ袋削減、店頭回収された容器包装のリサイクル資源としての売却益をクレジット購入費用として活用。東日本大震災の被災地である岩手県・宮城県・福島県の J-VER を購入することで、地球温暖化防止につながる環境活動に貢献するとともに、被災地支援につなげている。

ポスターを全店舗に掲示し、さらにチラシ広告にも掲載することでPRもっており、それらに東北地域 J-クレジットのロゴマークを掲載し、東北地域へのオフセット制度の普及啓発も図っている。

● 日本百貨店協会(東京都)

(取組内容)

百貨店統一『スマート・クール・バッグ(保冷タイプ)』を全国一斉販売し、地球にやさしい買い物を推進しており、今年は、バッグ(25,000 袋)に対して1 袋当たり 50 円を 125 トンのクレジット購入費用に充当し、カーボン・オフセットを実施。喜多方市の「喜多方市森林整備加速化プロジェクト」によって創出された J-VER を利用し、スマート・クール・バッグをカーボン・オフセット商品とすることで、誰でも買い物を通じ参加できる「きっかけ」とした。店頭では、消費者へ理解促進を図るため、喜多方市の森林整備プロジェクトのパネル紹介もおこなった。